

# まにわへおいで

伝えたい！真庭の体験プログラム

2012  
夏号

「まにわへおいで」は真庭市で旬な体験プログラム情報をタイムリーにお伝えする、手作り情報誌です。

## バイオスタウン真庭で感動体験！

緑がまぶしい5月、岡北中学校(岡山市)の元気な2年生、66名が真庭へ研修に来てくれました。森林・林業コースと酪農コースに分かれて体験。研修の感想を取材しました。



ノコギリを手に間伐にチャレンジ

### Q. この体験で得たものは？

新学期が始まったばかりでもあり、友達同士のコミュニケーションがあまりとれていないこの時期にこの共同作業で得たものは大きいですね。友達として色んなきっかけが生まれたようでした。

加えて、木を伐る事がなぜ必要か？知らなければ一見矛盾して見えることも、自然を守るために必要なことだということや、バイオマスのこと。

得たことは色々となりましたが、なんといっても一番は子供たちが「先生、とっても楽しかったよ」これですね。



みんなで力を合わせて作業完了！

### Q. なぜ真庭で林業体験を？

真庭って蒜山高原が有名ですよ。個人的には行楽地として良く訪れるのですが、実はバイオマスの先進地として有名だったんですね。(知りませんでした：笑) しかも林業が盛んだということで、昨年からの先生方が企画していたんですよ。



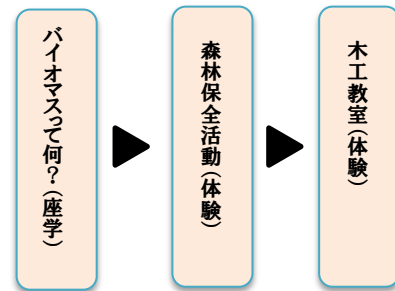
足高紗耶先生

### Q. 体験プログラムの内容は？

まずは、座学でバイオマスについて学びました。「バイオマス」という言葉を最初子供たちは全く知りませんでした。バイオマスとは何か、森林保全活動とは、など学んだ上で、次に森林保全活動に入ります。5、6人ずつ、班に分かれて、実際にノコギリを手に間伐をしました。

- 体験名: 森林・林業コース
- 体験内容: 森林保全活動として「間伐」作業をします  
木工教室で棚などを作ります。
- 人数: 33名
- 所要時間: 約5時間(昼食含む)

(体験の流れ)



### Q. 生徒の反応は？いかがでしたか？

技家の授業などで少しはノコギリを使った経験はある生徒が多かったのですが戸惑いはありませんでしたが、実際に木を目の前にして「この木を倒します」と説明があったときは「エーッ！」という声が上がっていましたね。

指導員の方の指示に従って共同作業すること約30分、音を立てて木が倒れた時には大きな歓声があがりました。

「やったー！」「もう一本伐りたい」なんて声も出てましたよ(笑)

### ☆生徒たちの声☆

- めったにできない貴重な体験ができた。
- 木を切る体験(伐採)は、とても達成感があった
- 体験学習をもう少ししてみたかった。
- もっとバイオマスが全国に有名になってほしい。
- 作業の時間が少し短かったけど、楽しかった。
- 説明がわかりやすかった
- 僕たちがやった森林保全活動を残してください。
- 家族旅行で来たい
- 真庭で働きたい

足高先生、ありがとうございます。木のまち、真庭だからこそできる事があります。これからもぜひお手伝いさせてください。